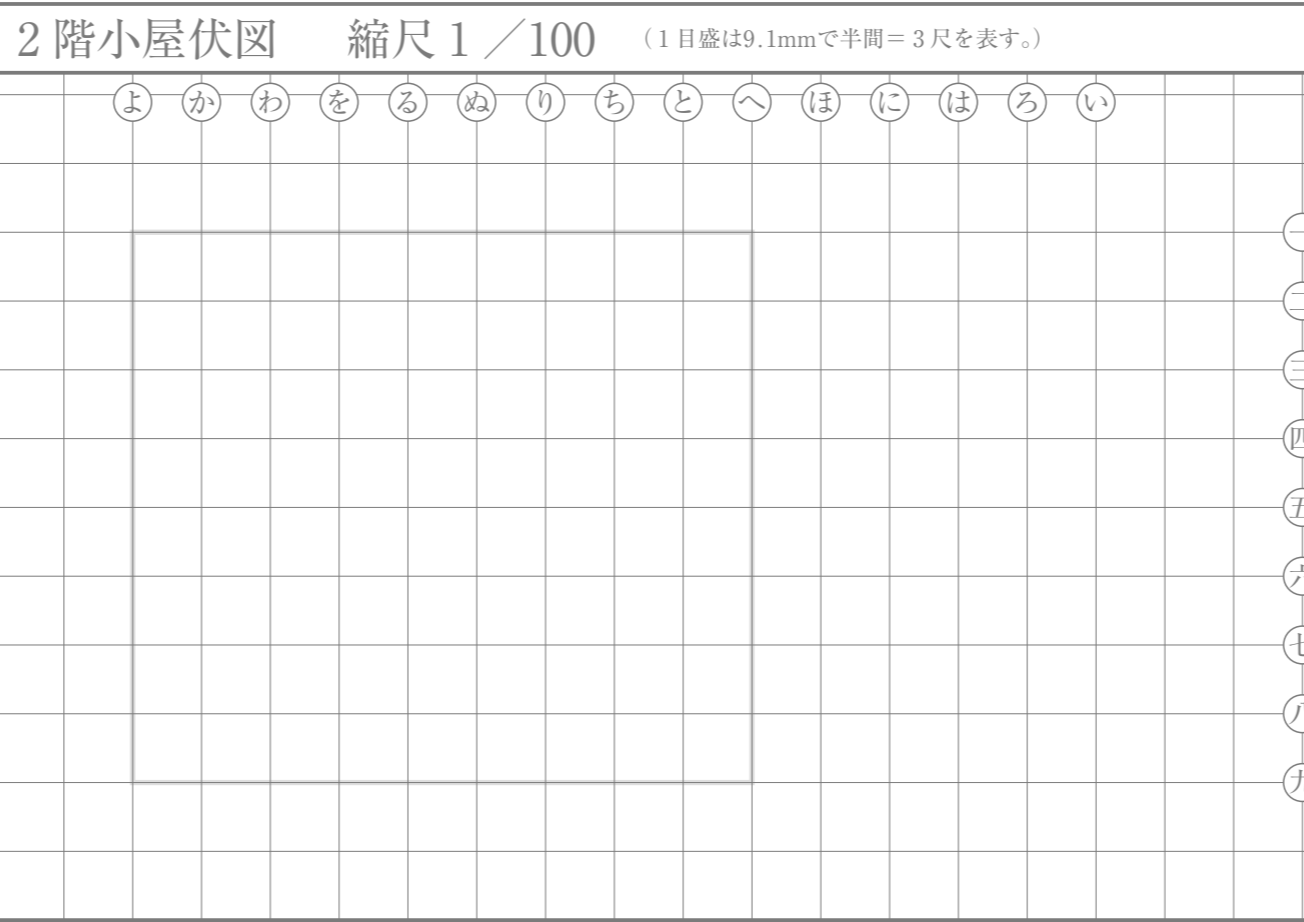
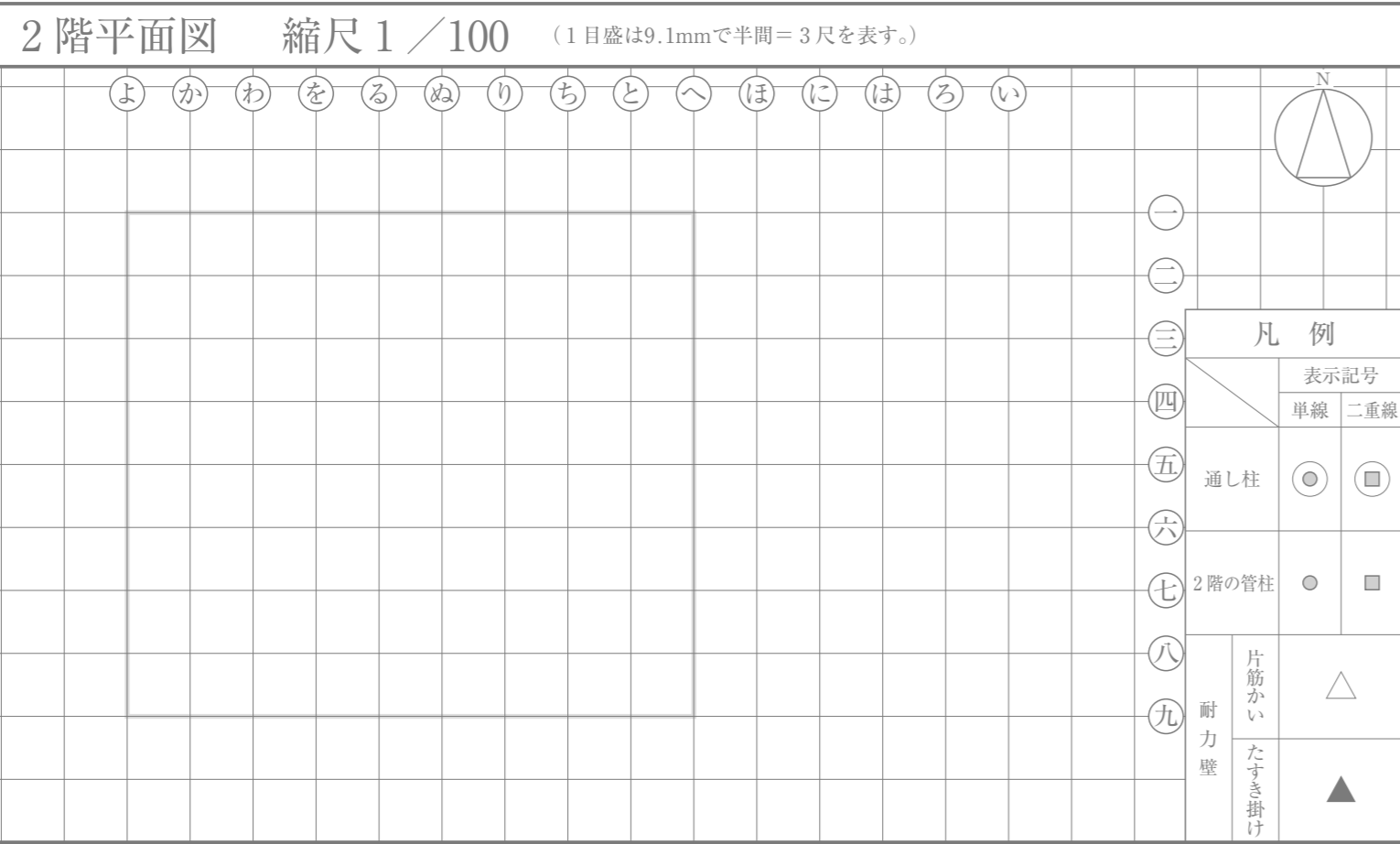


[注 意 事 項]

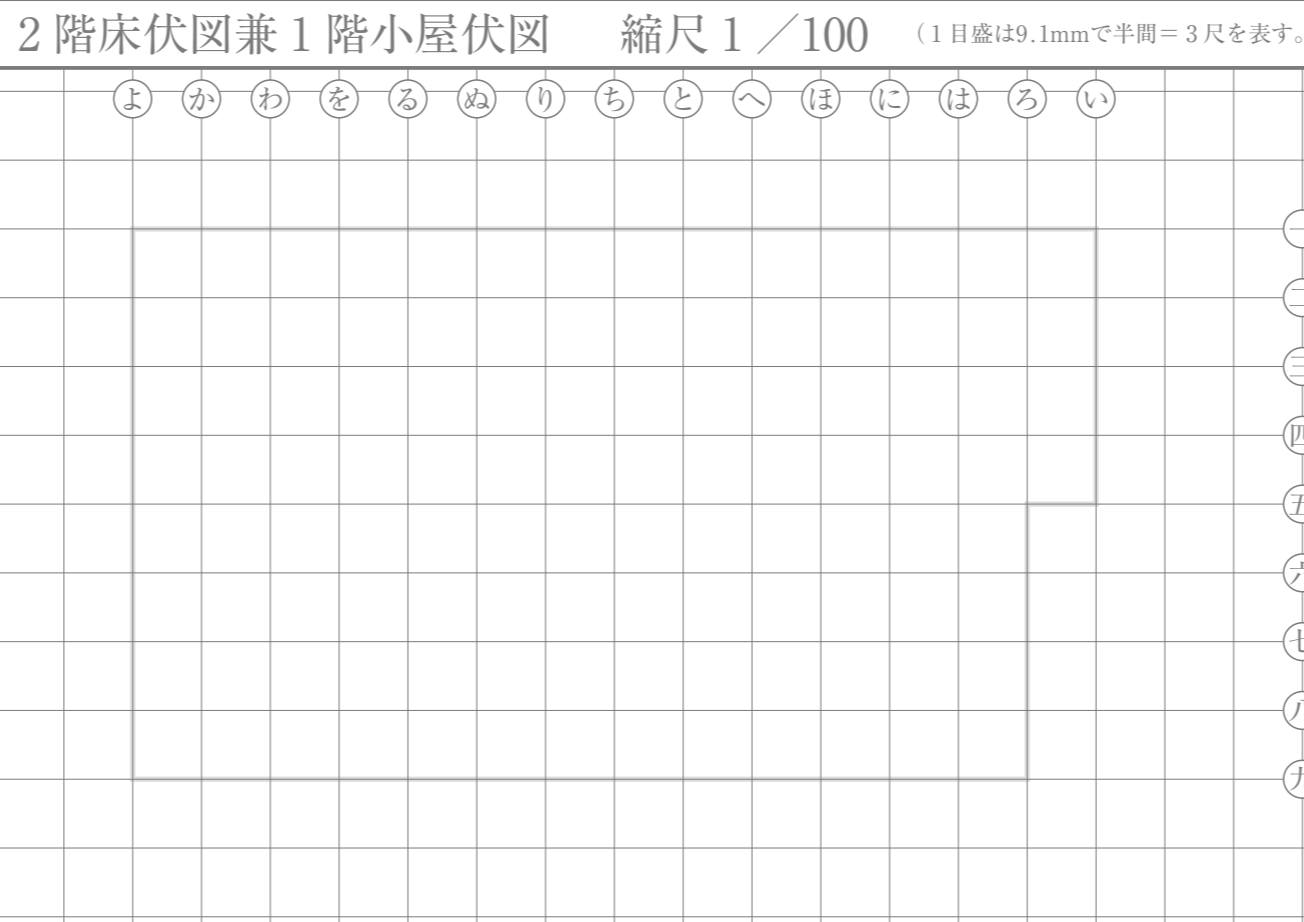
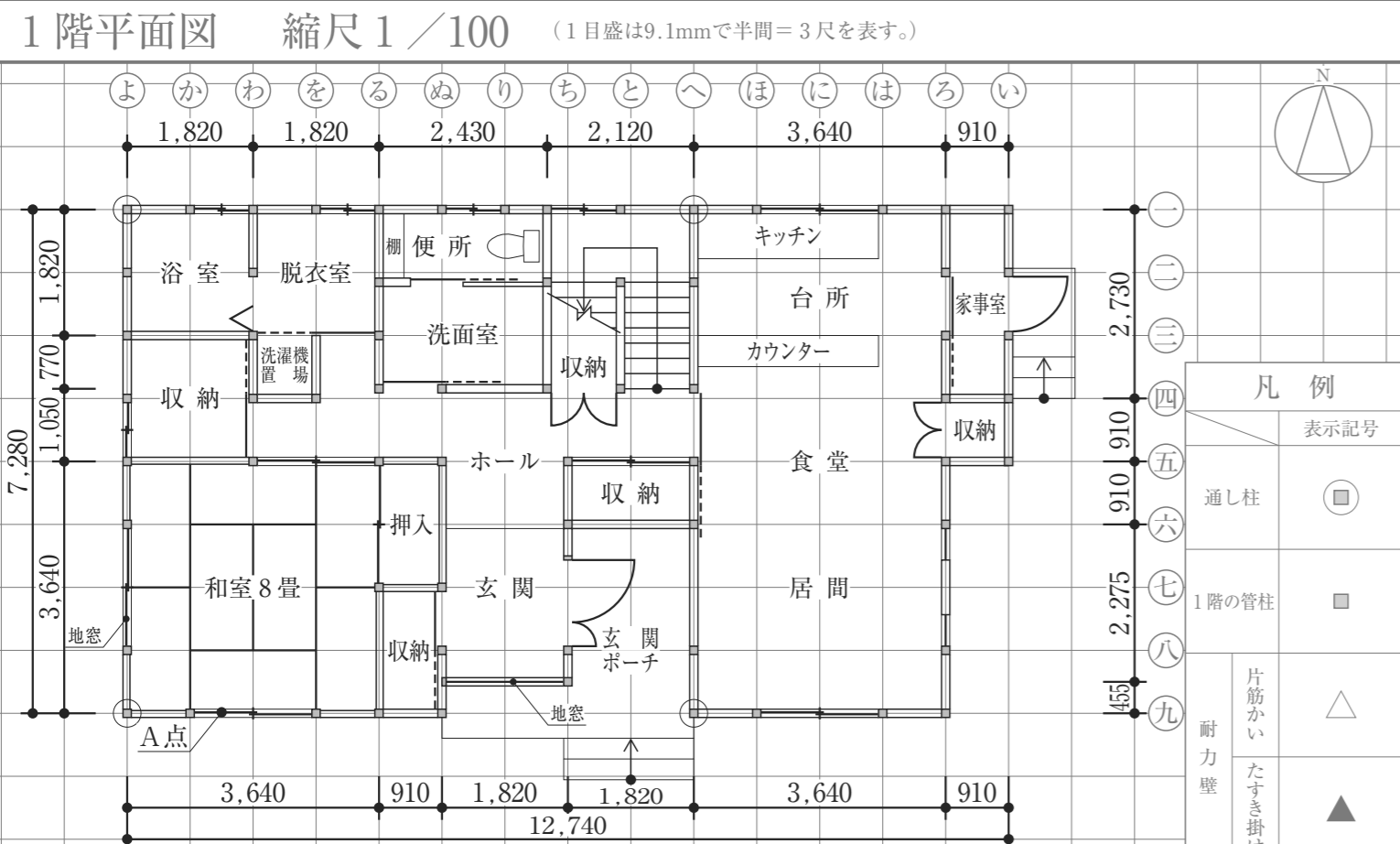
1. 問題用紙は、1枚です。
2. 答案用紙は、2枚あります。
「答案用紙A」: 柱杖^{はしらづえ}図を選択した場合の1枚
「答案用紙B」: 矩計図を選択した場合の1枚
3. この封筒、問題用紙、「答案用紙A」及び「答案用紙B」の4箇所全てに、試験場、受験番号及び氏名を記入して下さい。
4. 試験開始後、選択要求図書において、柱杖^{はしらづえ}図を選択した場合は「答案用紙A」を、矩計図を選択した場合は「答案用紙B」を使用し、この封筒の答案用紙の選択欄にある答案用紙A・答案用紙Bのいずれか一つを○で囲んで下さい。
5. 選択しなかった答案用紙(1枚)は、この封筒に入れて下さい。
6. 試験開始90分経過後、選択しなかった答案用紙(1枚)を入れたこの封筒を回収しますので、それまで(試験開始後90分)の間に答案用紙の選択を行って下さい。なお、回収後は答案用紙の選択の変更は一切できません。
7. 問題用紙については、試験終了まで試験室に在室した者に限り、持ち帰りを認めます。(中途退出者については、持ち帰りを禁止します。)
8. 試験問題を十分に読んだうえで、「設計製図の試験」に臨むようにして下さい。なお、設計と条件に対して解答内容が不十分な場合には、「設計条件・要求図書に対する重大な不適合」と判断されます。

試 験 場	受 験 番 号	-	氏 名	答案用紙の選択	選択した答案用紙を○で囲んで下さい。	
					答案用紙A	答案用紙B

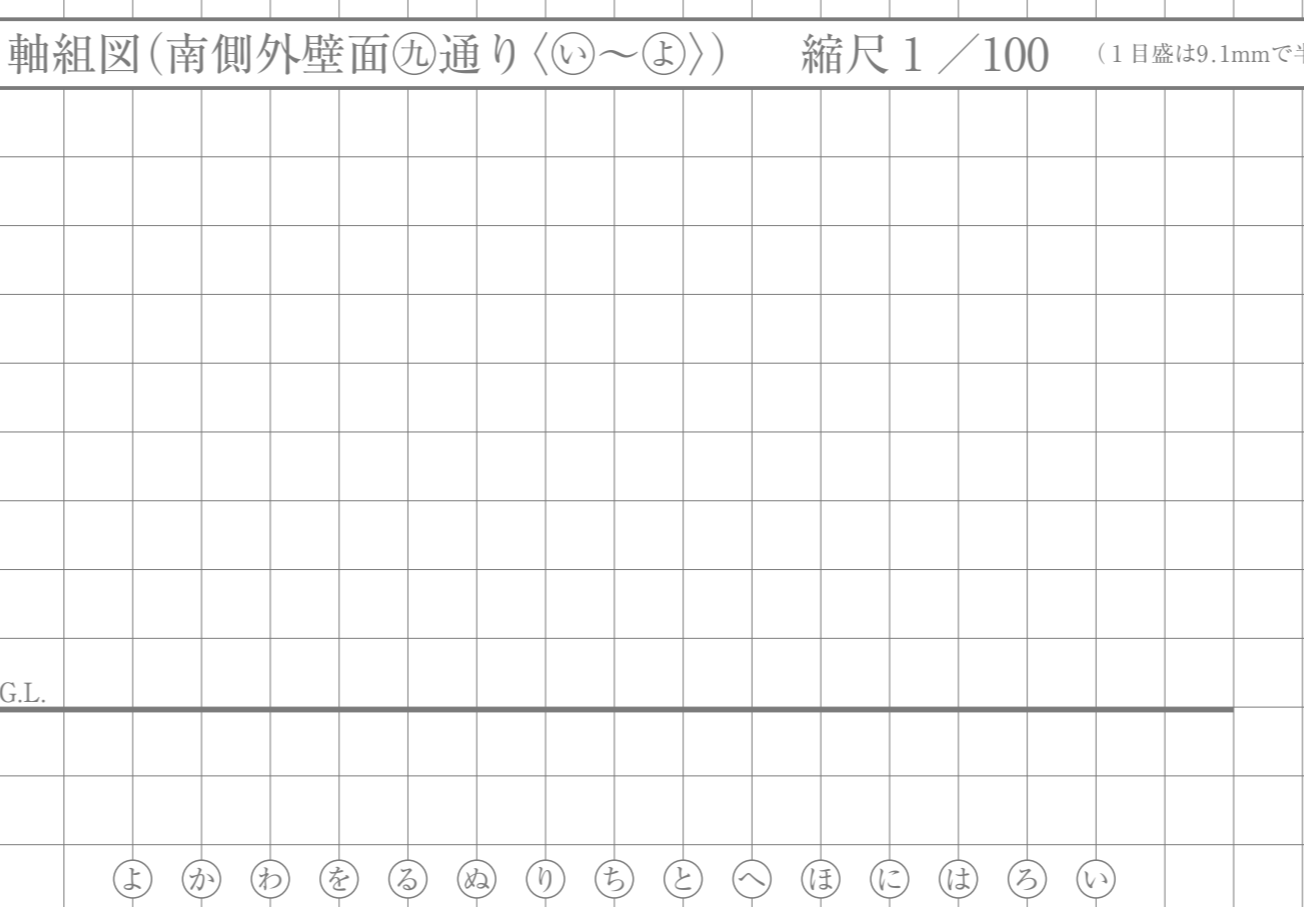
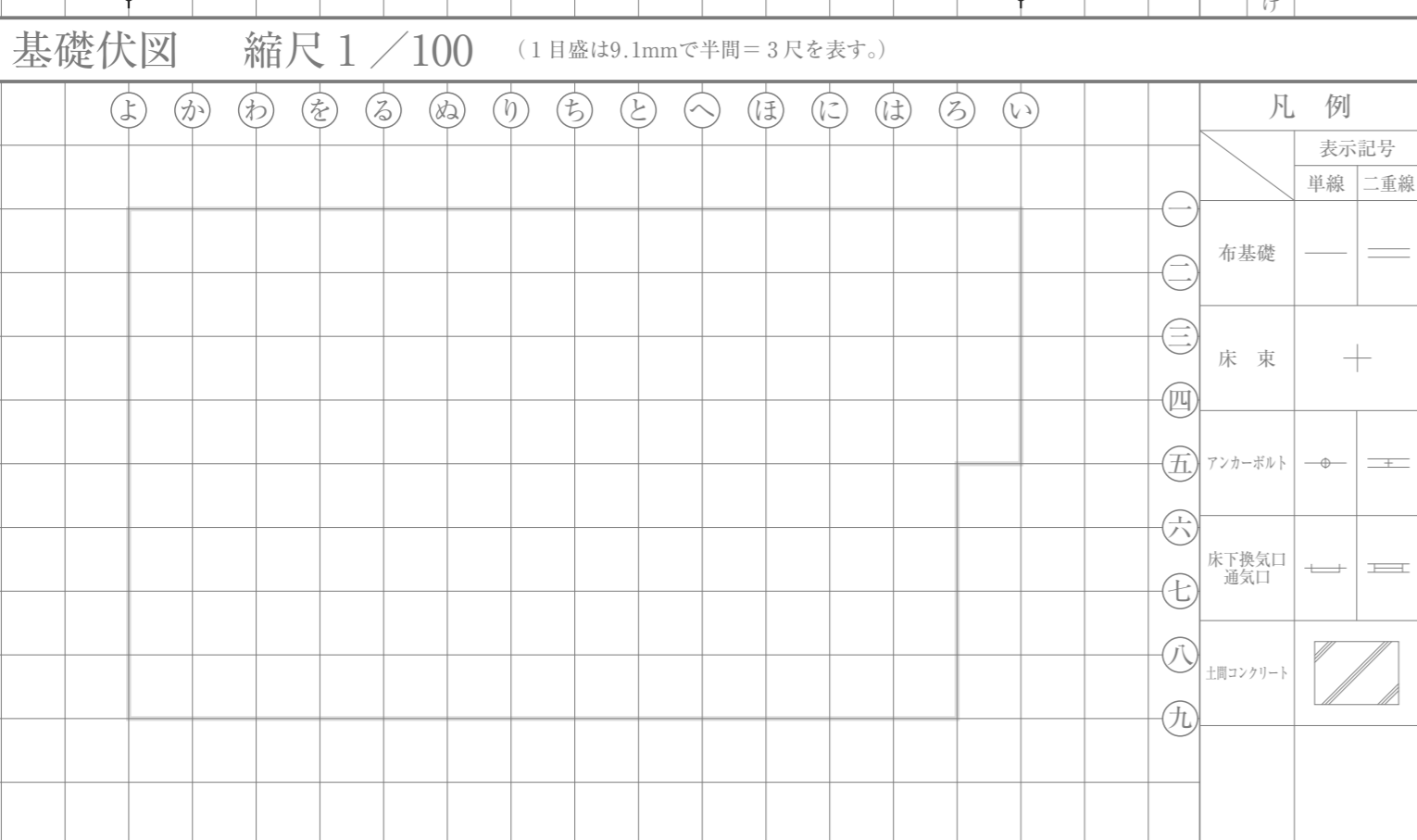
[この答案用紙は、柱杖図を選択した場合の専用答案用紙です。]



表示記号	断面寸法 (mm)	
	単線	二重線
通し柱	○	◻
2階の管柱	●	■
桁 (正角材)	—	—
桁 (平角材)	∩	∩
桁 (丸太材)	∩	∩
火打梁	∩	∩
棟木・小屋束	—	—
隅木・小屋束	—	—
母屋・小屋束	—	—
屋根仕上げ		
屋根勾配		



表示記号	断面寸法 (mm)	
	単線	二重線
通し柱	○	◻
1階の管柱	●	■
2階の管柱	●	■
1階と2階が重なる管柱	⊗	⊗
桁 (正角材)	—	—
桁 (平角材)	∩	∩
桁 (丸太材)	∩	∩
火打梁	∩	∩
母屋・小屋束	—	—
屋根仕上げ		
屋根勾配		



表示記号	断面寸法 (mm)	
	単線	二重線
布基礎	—	—
土台	—	—
通し柱		
通し柱		
胴差 (正角材)	—	—
桁 (平角材)	∩	∩
筋かい	∩	∩
開口部	⊗	⊗
継手位置	⊥	⊥

試験場 _____ 受験番号 _____

氏名 _____

1	2	3	4
5	6	7	8

※右欄には記入しないこと。

主要構造部材表 [木拾い書] 2階床伏図兼1階小屋伏図における胴差、2階床梁、桁及び1階小屋梁について、平角材、丸太材の木拾いを行い、下欄に記入すること。なお、正角材は木拾いを行わずによい。

部材名	断面寸法 (mm)			定尺長さ (mm)			本数				
	幅	高さ	寸法	長さ	寸法	長さ	幅	高さ	寸法		
胴差	幅	×	せい		幅	×	せい		幅	×	せい
2階床梁	幅	×	せい		幅	×	せい		幅	×	せい
桁	幅	×	せい		幅	×	せい		幅	×	せい
1階小屋梁	幅	×	せい		幅	×	せい		幅	×	せい

はしらづえ
柱杖の心

はしらづえ
柱杖の心

G.L. から 階上端までの高さ

欄 2 _____ mm

欄 1 _____ mm

土台 下端

胴差 上端

1階

2階

▽G.L.

凡例	部材名称	合印	部材名称	合印
	凡例	胴差・桁	⊗	回り縁
例	土台	⊗	鴨居(下端)	⊥
	貫	⊥	敷居(上端)	⊥

令和2年 木造建築士試験「設計製図の試験」

答案用紙 A

